



健育会グループ 60年の軌跡、そしてこれから

医療法人社団 健育会 理事長 竹川節男

健育会グループ 60年の軌跡、そしてこれから

*Medical
Corporate Body
Ken-ikukai
Group*

医療法人  健育会グループ

医療法人社団 健育会 理事長 竹川節男

www.kmcb.or.jp

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-18 Tel 03-3233-1105(代) Fax 03-3233-1731



目次

第1章	目の前の患者さんを救うことが使命	01
1-1	創業者 竹川 不二男	02
	「目の前の患者さんを救う」という信念 次世代へと繋ぐ教育 いずれリハビリテーションが重要視されることを予見	
1-2	大学病院時代の学び	05
	大学病院での診療・研究を通してロジカルな考え方を習得 「もっとスケールを大きく持て。」	
第2章	医師として、経営者として	07
2-1	経営者として	08
	東京都私立病院会青年部会（現・東京青年医会）と経済同友会への参加 医療はサービス業である	
2-2	民間の活力で崩壊する医療に歯止めを	10
	日本の医療崩壊を危惧 規制改革への想い	
2-3	西伊豆病院院長時代の貴重な経験	12
	多忙な西伊豆病院院長時代 ツートップ制の発想	
2-4	石巻港湾病院開設、高齢者医療改革の幕開け（1991年）	14
	遅れていた東北で「最先端の高齢者医療」	
2-5	竹川病院の療養型病床への転換（1993年）	15
	全面改築にともなう高齢者医療改革 初代・理事長の逝去	

第3章	光り輝く民間病院グループをめざして	17
3-1	民間の力で医療を支えていく	18
	規制緩和の流れと、ヘルスケアシステムズの設立 体験からの実践	
3-2	膠着した組織からの脱却をめざして	20
	「Show the Flag」と「The Buck Stops Here」 MVVの導入「使命」「長期目標」「価値観」 バリューの提供によるミッションとビジョンの達成 ひとりひとりの目標達成がグループのビジョン達成になる	
3-3	各病院のMVV実践事例（1）	24
	各病院のMVV実践事例（2）	26
3-4	人を育てるための教育と研修	28
	使命感の育成 頑張る人を応援し、評価する人事制度 学びをサポートする教育・研修制度	
3-5	質の高い医療とは	32
	個々の求めに応じた適切な医療 チーム医療 質の高い医療の追求	
3-6	グループへ新しいメンバーが加わってくる	34
	互いに見極めと、よい文化の吸収	
3-7	スケールメリットとリスク分散	36
	スケールメリットとリスク分散	



第4章 活力のある高齢社会のサステナビリティを実現する ----- 37

4-1 本格的な高齢社会と向き合う ～地域の高齢者介護の拠点として～ ----- 38

尊 厳

「尊厳」を平等に扱うための総合福祉施設

4-2 介護のMVVの制定 ----- 40

介護をすることで何を提供できるのか

活力のある高齢社会のサステナビリティを実現する

ご利用者には「輝きの一日」を

4-3 各施設のMVV実践事例(1) ----- 42

各施設のMVV実践事例(2) ----- 44

4-4 EPAの取り組み ----- 46

「海外からの人材受け入れが必要」

将来を見据えての積極的な取り組み

4-5 介護甲子園での優勝 ----- 48

全国423事業所中、ベスト5に3事業所

最優秀賞に加え、優秀賞にも2事業所

4-6 日本の介護は輸出できる ----- 50

日本の介護技術で高齢化の進むアジアへ貢献

第5章 震災を体験して ----- 51

5-1 グループの結束と底力を感じる ----- 52

東日本大震災での、職員の尽力

日頃の交流を背景とした結束・底力

5-2 ハーバード・ビジネス・スクールからの評価 ----- 54

組織管理と震災対応をテーマに来日

5-3 健育会は、ミドル・アップダウン ----- 55

全職員がひとつに

60周年を目前にはじめた「理事長トーク」

第6章 Vision & Work Together! ----- 57

60周年を迎えて ----- 58

ディレクターからの「メッセージ」 ----- 60

私たちの Vision & Work Together! ----- 72

癒しや健康をテーマにした社会文化活動 ----- 76

健育会グループの歴史 ----- 78

健育会グループの病院・施設 ----- 80